

(様式1) マッチングリクエストシート

記入日：2026年9月25日

1. マッチングリクエスト団体名	
アサヒグループジャパン株式会社	
2. リクエストの種類（どちらか1種類を選択）	
	課題発信型リクエスト・・・自らが解決したい課題を発信し、 解決に資する具体的な提案を募集する。
✓	提案発信型リクエスト・・・自らが提供できる強み（技術、ノウハウ等）を発信し、 連携可能な取組提案等を募集する。
3. 取組の名称	
ボトルtoボトル（ペットボトルリサイクル）で資源が循環し続ける社会の実現を目指す（自治体連携）	
4. 関連するSDGsのゴール	
12. つくる責任、つかう責任／13. 気候変動に具体的な対策を	
5. マッチングを希望する取組の目的・概要	
日常生活で使用しているペットボトルの日本におけるリサイクル率は約85%と世界最高水準となっていますが、そのうち ペットボトルに再生されるのは約58%に止まり、残り約42%は繊維や食品トレイなどになっています。（2024年デー タ:PETボトルリサイクル推進協議会）ペットボトルは優秀な素材で、何回も繰り返しペットボトルへ再生出来ますが、 繊維や食品トレイにしてしまうとペットボトルへ戻せなくなります。脱炭素という視点からもペットボトルを全てペットボトル へ戻し、資源を循環するという取り組みを推進していきます。	
6. 提案を求めたいサービス・アイデア等	
今回の提案は資源回収を行っている自治体（市町村）が対象となります。多くの自治体が利用している容器包装リ サイクル協会経由のルートでは、ペットボトル回収後の再生PET樹脂用途の指定が出来ないため、協定などで独自に 「回収したペットボトルをペットボトルへ再生する（ボトルtoボトル）」のルートを確立する手法となります。再生ペットボ トルは石油由来の原料から製造するペットボトルと比べて約60%のCO2削減効果があります。	
7. その他、マッチングに関して共有したいこと等あればご記入ください。	
関心を持たれた自治体のご担当者は、是非一度ご連絡ください。詳細につきましては、アサヒ飲料(株)の担当者よりご 連絡を差し上げてご説明に伺います。	